

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修		
科目区分等		単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	

授業のキーワード	教育史、子どもと社会、日本文化
授業の概要	教育および子どもの歴史を概観するとともに、現代の子どもを取り巻くさまざまな問題について学びます。各自がゼミ論文のテーマを決定します。
期待される学習成果（目標）	1、教育および子どもの歴史について知ること、日本社会や文化の特質について自分なりの理解をすることができます。 2、ゼミ論文のテーマを決め、執筆の準備をすることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	子どもと社会の現状	歴史の学習に入る前に、子どもと教育に関わる社会問題について概観します。
3	教育の歴史をふりかえる①	子どもと家庭教育の歴史について概観します。
4	教育の歴史をふりかえる②	子どもと家庭教育の歴史について概観します。
5	教育の歴史をふりかえる③	子どもと学校教育の歴史について概観します。
6	教育の歴史をふりかえる④	子どもと学校教育の歴史について概観します。
7	教育の歴史をふりかえる⑤	子どもと学校の歴史について概観します。
8	中間のまとめ	前講までの学習を総括します。各自がゼミ論文の題材について、素案を持ち寄ります。
9	ゼミ論文の準備①	各自が持ち寄ったゼミ論文の題材を参考にして、教育の歴史について補足的に講義します。
10	ゼミ論文の準備②	各自ゼミ論文の構想を練ります。
11	ゼミ論文の準備③	各自ゼミ論文の構想を練ります。
12	ゼミ論文の準備④	各自ゼミ論文の構想を発表し、意見交換を行います。
13	ゼミ論文の準備⑤	各自ゼミ論文の構想を発表し、意見交換を行います。
14	ゼミ論文の準備⑥	論文の書き方について基本的事項を説明します。
15	まとめ	夏休み中に行うべき活動について確認します。

定期試験	ゼミ論文の構想（章立ても含む）と作業計画をまとめて提出してもらいます。
評価方法	授業への取り組み（30パーセント）、課題に対する評価（70パーセント）により総合的に評価します。
使用する教科書（必ず購入してください）	
参考文献	佐藤環『日本の教育史』現場と結ぶ教職シリーズ2（あいり出版） 小山静子『子どもたちと近代 一学校教育と家庭教育一』（吉川弘文館） 辻本雅史・沖田行司編『社会教育史』新体系日本史16（山川出版社）